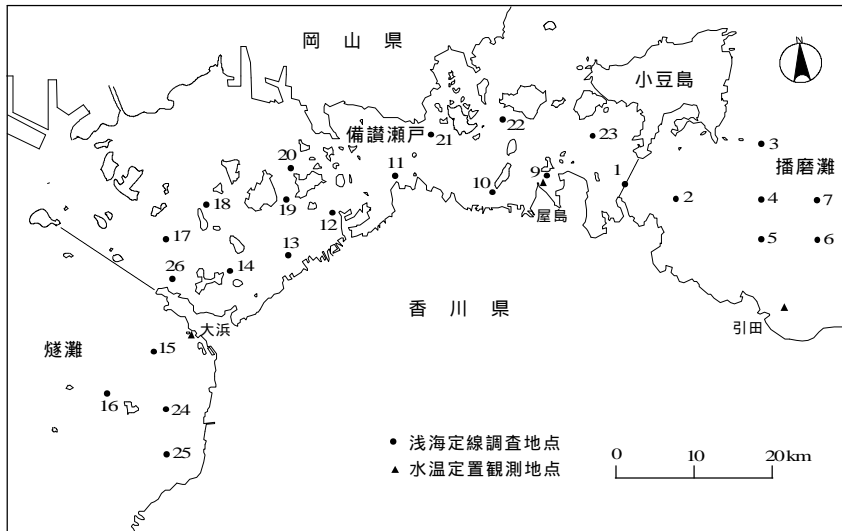


# 香川県漁海況速報 平成20年8月(H20-5号)

香川県水産試験場

## 1. 海況

### 1) 観測地点



### 2) 浅海定線調査

#### (1) 調査日

平成20年8月1日(播磨灘)、5日(備讃瀬戸、燧灘)

#### (2) 水質概況

平年と比較すると、水温は「平年並みから著しく高め」、塩分は「平年並みからかなり高め」、透明度は「やや高めからかなり高め」、溶存酸素は「かなり低めからやや高め」であった。

		水温 (°C)			塩分 (PSU)			透明度 (m)	溶存酸素 (ml/L)	
		表層	10m層	底層	表層	10m層	底層		表層	底層
播磨灘	7地点平均値	26.8	25.3	22.8	32.0	32.1	32.1	11.3	4.56	3.99
	平年値	25.5	24.2	22.3	31.5	31.6	31.9	7.9	4.99	3.25
	平年偏差	1.3	1.1	0.5	0.5	0.5	0.2	3.4	-0.43	0.74
	状況	やや高め	かなり高め	やや高め	やや高め	やや高め	平年並み	かなり高め	やや低め	やや高め
備讃瀬戸	14地点平均値	26.7	26.3	26.0	32.6	32.7	32.7	5.6	3.95	3.80
	平年値	25.2	24.6	24.3	31.6	31.6	31.7	4.8	4.42	4.10
	平年偏差	1.4	1.6	1.6	1.1	1.0	1.0	0.8	-0.47	-0.30
	状況	かなり高め	かなり高め	著しく高め	かなり高め	かなり高め	かなり高め	やや高め	やや低め	やや低め
燧灘	4地点平均値	28.8	25.1	21.9	32.9	32.8	33.0	13.6	4.23	3.80
	平年値	27.5	23.8	21.7	31.7	32.0	32.3	10.1	5.01	3.17
	平年偏差	1.3	1.2	0.2	1.2	0.7	0.7	3.5	-0.78	0.63
	状況	やや高め	かなり高め	平年並み	やや高め	かなり高め	やや高め	かなり高め	かなり低め	やや高め

平年偏差 = 平均値 - 平年値

平年値の算出期間

水温、塩分及び透明度：昭和48年(1973)1月～平成13年(2002)12月

溶存酸素：昭和48年(1973)2月～平成13年(2002)12月

水温は、毎月1日の値に補正。

平年並み	0	平年偏差 < 0.6	( : 標準偏差)
やや高め(やや低め)	0.6	平年偏差 < 1.3	
かなり高め(かなり低め)	1.3	平年偏差 < 2.0	
著しく高め(著しく低め)	2.0	平年偏差	

### 3) 定置観測(水温)

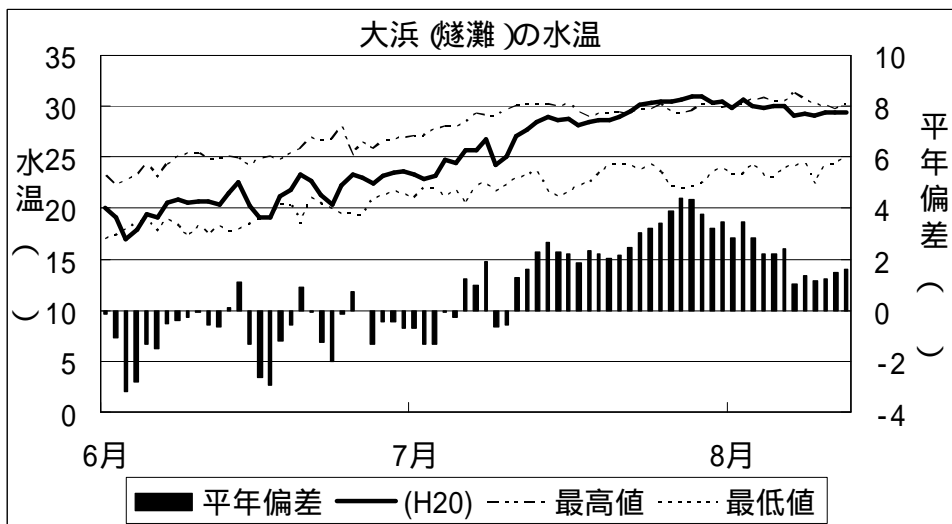
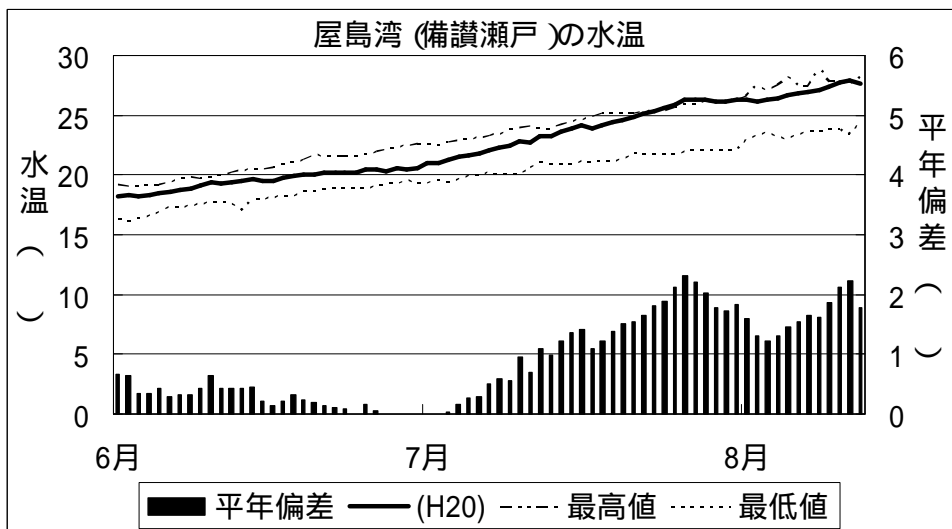
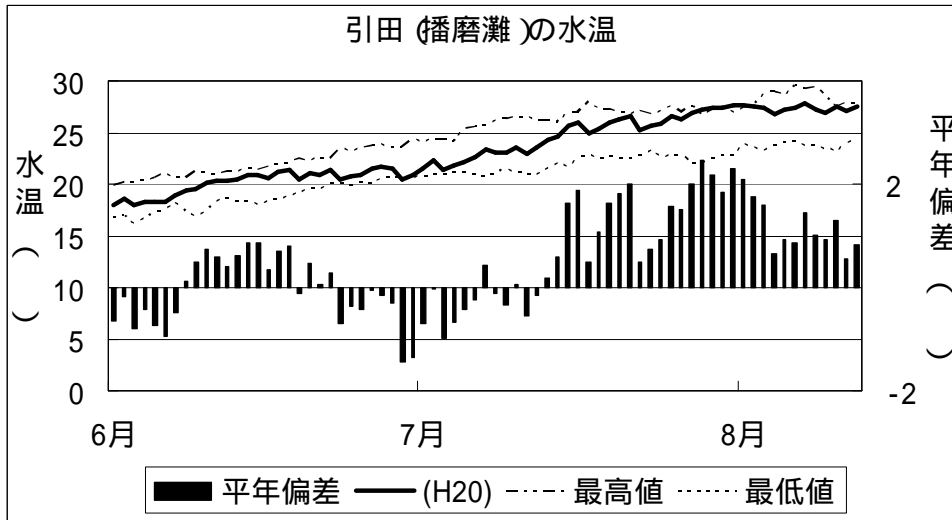
播磨灘(引田): 7月前半はやや低めから平年並み、後半以降はやや高めからかなり高めで推移している。

備讃瀬戸(屋島): 7月第1週は平年並み、第2週以降はやや高めから著しく高めで推移している。

燧灘(大浜): 7月上旬はほぼ平年並み、中旬以降はやや高めから著しく高めで推移している。

平年値の算出期間 引田及び大浜: 平成元(1989)~平成19(2007)年

屋島: 昭和50(1975)~平成19(2007)年



#### 4) 赤潮(7月8日~8月12日)

播磨灘：7月17日から21日まで南西部でコクロディニウム及びメソディニウムの赤潮が発生した。

備讃瀬戸：7月6日から9日まで屋島湾においてヘテロシグマ赤潮が発生した。

燧灘：発生なし。

#### 5) 卵稚仔

調査日：平成20年8月1日(播磨灘) 5日(備讃瀬戸、燧灘)

出現量

カタクチイワシ卵の出現量は平均13.48個/曳網(対平年値68.4%)であった。

## 2. 漁況

7月からの漁況は次のとおりである。

海 域	漁 況
播 磨 灘	底びき網では、主に小型エビ類、イボダイ、テナガダコ等が漁獲されている。 桁網では、主にマアジ、サバ、タチウオ、スズキ、イボダイが漁獲されているが、全般的に低調である。 建網では、主にガザミ、マダイ(小)が漁獲されている。 東讃のシラス船曳網の7月の漁獲量は約180トンで、好漁であった前年より少ないが、平年(89-04)の約400%であった。
備 讃 瀬 戸	底びき網では、主にウシノシタ類、メイタガレイ、イボダイ、マダイ、小型エビ類、マダコが漁獲されているが、前月に引き続き、小型のマダコが多い。 マナガツオ流し刺網は前年の半分以下と不漁である。
燧 灘	底びき網では、主にアカカマス、シロギス、メイタガレイ、小型エビ類、クルマエビ、シャコ、トリガイが漁獲されているが、前年よりトリガイ、クルマエビが多い。 桁網では、スズキ、マルアジ、クロダイ、キジハタが漁獲されているが、全般的に少ない。 イワシ機船船びき網の7月までの漁獲量はチリメン、カエリ主体で約3,300トン、前年の約150%であった。